

# 令和3年度第2回社会教育委員会議会議録

| 令和3年度第2回社会教育委員会議会議録 |                                                                                               |   |          |      |          |   |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------|------|----------|---|
| 開催日                 | 令和4年1月13日(木)                                                                                  |   |          | 開会時間 | 10時00分   |   |
| 会 場                 | 市役所5階 503会議室                                                                                  |   |          | 閉会時間 | 12時00分   |   |
| 委員の<br>出欠状況         | 原 浩 明                                                                                         | 欠 | 宮 本 康 治  | 欠    | ◎久 米 隼   | 出 |
|                     | 佐 野 一 機                                                                                       | 出 | 鈴 木 敬一郎  | 出    | 泉 素 子    | 出 |
|                     | 柳 下 和 弘                                                                                       | 出 | 宇 部 章 子  | 出    | 中 川 淳 子  | 出 |
|                     | 花 岡 理恵子                                                                                       | 出 | 伊 藤 芳 夫  | 欠    |          |   |
|                     | 村 山 喜三江                                                                                       | 出 | ○森 田 圭 子 | 出    |          |   |
|                     | 小見山 映 二                                                                                       | 出 | 山 崎 尚 子  | 出    | ◎議長 ○副議長 |   |
| 傍聴者                 | なし                                                                                            |   |          |      |          |   |
| 事務局                 | 【教育委員会】 大久保教育長、 寄口教育部長<br>【生涯学習課】 茂呂課長、鈴木課長補佐、山本主査、田谷社会教育指導員、<br>西生涯学習推進員<br>【スポーツ青少年課 】 高橋課長 |   |          |      |          |   |
| 議 題                 | 1 専門部会報告<br>2 教育委員会答申素案について<br>3 社会教育推進に関する意見交換について                                           |   |          |      |          |   |

## 1 開会

## 2 あいさつ

### ○大久保教育長

こんにちは。本日は、大変ご多用のなか、令和3年度第2回社会教育委員会議にご出席いただきありがとうございます。

暦の上では、松の内は過ぎておりますが、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年は、1年のうち、およそ200日が、緊急事態宣言或いはまん延防止等重点措置期間となり、さまざまな面で制約の多い年であったと思っております。10月以降は、それまでの爆発的な感染拡大が嘘のように激減して、社会教育施設の通常利用もできるようになってまいりました。若干安堵はしておりましたが、年明けとともに感染力が強いと言われるオミクロン株による感染が、現在、急激に拡大しております。

市内においても新規陽性者が増えつつあります。和光市はご案内のように警戒区域アラートの対象区域にもなっておりますので、改めて基本的な感染防止対策の徹底が必要となっていると認識をしております。

これまで、2年に及ぶコロナ感染症への対応に基づいた経験値があるわけですので、最大限に活かしながら、万全な対策を講じてまいりたいと思っております。

さて、昨年7月28日に、第1回社会教育委員会議において、「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について」を諮問させていただいたところ、社会教育委員会議におかれては、早々に専門部会を設置され、限られた時間のなかで、4

回の専門部会を開催し、答申素案を作成していただきました。

久米議長、森田専門部会長から、本日の会議では、その素案について、各委員からご意見をいただいて、答申案のまとめをされるとおききしております。

専門部会のみなさまには、タイトなスケジュールのなかで、調査・研究を進めていただき、素案をまとめていただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

答申素案の審議のあとには、Withコロナを踏まえたそれぞれの組織・団体の活動の工夫などについて紹介していただく時間も設けておりますので、短時間にはなりますが、各委員のみなさんによりしくお願い申し上げて、あいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

### ○事務局

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。

## 3 自己紹介

委員自己紹介

## 4 議題

### ○議長

本日の会議は、不開示情報の審議を予定しておりませんので、公開とします。

### (1) 専門部員の変更について報告

久米議長より経過報告

### (2) 専門部会報告

森田専門部会会長より、専門部会審議経過について報告、今後の計画について説明

### (3) 専門教育委員会諮問に係る答申素案について

#### ○議長

森田専門部会会長より、専門部会の審議経過をご報告いただきました。本日は、この答申素案につきまして、それぞれの委員のお立場から、多くのご意見を出していただき、答申案に反映させていきたいと考えております。この後、皆さまからご意見をいただきますが、答申素案の表紙を開いていただき、目次のところをご覧ください。

ご意見を伺うにあたり、答申素案を

#### ① はじめに 及び 第1章

「和光市における社会教育の現状と課題」の部分 1ページ から 9ページまで

#### ② 第2章

「和光市における学校・家庭・地域の連携・協働を支える社会教育の役割について(提案部分)」の第1節 総論 の部分 10ページ から 12ページまで

#### ③ 第2章第2節

「生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生を支援する社会教育の役割」の

部分 13ページ から 20ページまで

④ 第2章第3節

「学校・家庭・地域の連携・協働の推進」の部分 21ページ から 31ページまで

⑤ 第2章第4節

「家庭教育を支える社会教育」から おわりに の部分 32ページ 以降  
の5つに分け、順にご意見をおうかがいしていきたいと考えております。全体で、60分を目安として進めさせていただきたいと存じます。

○議長(議事進行)

私から、少し説明いたしますが、はじめにの部分は国の動向、社会の流れや答申に係る経緯が記されております。また、第1章は、和光市における社会教育の現状と課題について、さまざまな調査結果等を踏まえて記載してあります。この社会教育委員会議の状況についても、現状と課題についてまとめてあります。第1章で述べた現状と課題を踏まえて、第2章の提言部分が作成されておりますので、ご意見等ございましたらお願いいたします。

○山崎委員

図書館の現状と課題については、アンケート結果をもとにしてまとめられていますが、公民館の図書室の利用状況や公民館に図書室が併設され、活用されているというコメントが入るとよいのではないのでしょうか。

○議長(議事進行)

ありがとうございます。答申素案には、細かなことを一つひとつ記載していくことは難しいかもしれません。図書館の事業については、図書館の計画に譲る部分もあるかもしれませんが、いただいたご意見は、検討していきたいと思っております。付け加えたらよいのではというご意見も出していただければと思います。

○事務局(生涯学習課長)

令和3年度わこうの教育には、図書館資料の館外配置についてお示してございます。公民館への配置状況につきましては、追記を検討させていただきます。

○議長

ありがとうございます。答申素案にどこまで書き込むか、専門部会では、本当に悩みました。答申素案に全てを記載することは大変難しいことですので、注釈をつけております。注釈が多いページもございますが、できるだけ端的に記すための工夫とお考え下さい。詳細は、注釈を参考にしていただければ幸いです。

○議長(議事進行)

それでは、次に移ります。第2章の第1節、総論のところになります。森田部会長から、補足等をお願いします。

## ○森田専門部会会長

和光市教育振興基本計画の基本理念等に則って、社会教育の役割を再確認するため、専門部会で皆さんとディスカッションしながら、特に、これからの和光市における社会教育の役割について大きな柱を4つたてました。

一つ目は、和光市の社会全体をフィールドとした社会教育

二つ目は、つながっていく社会教育

三つ目は、家庭教育を支える社会教育

四つ目は、「攻め」の社会教育

です。社会教育といっても、公民館や図書館の事業だけではなく、国の施設と連携して行っている事業やスポーツに関する事業、NPO 法人の進めている取組や地域活動団体・市民活動団体が行っている文化活動や社会教育活動等があります。多種多様な事業等が進められているわけですが、互いが、情報共有を進め、ネットワークを組みながら進めることがそれぞれの事業や活動の発展につながります。

このためには行政事業や市民活動団体等の事業を結びつけるためのコーディネート機能が必要であり、特に、行政担当者が現在の「待ち」の姿勢を改め、「攻め」の姿勢を持ち、積極的にいろいろな団体に関わりを持ち、和光市の社会教育の状況を全体的に把握することが重要であるという意見が出されました。

また、和光市は子育て世代が多い地域でありながら、家庭教育支援については、弱い面が見られています。家庭教育を支援することは、「つながりづくり」に資することであり、地域と家庭と学校という「地域づくり」にもつながっていきます。極めて、重要な視点であるため、家庭教育を支える社会教育という視点を取り上げてあります。

この4つの役割を踏まえて、第2章を構成していますが、具体的に取り組むべき方策として、これからの和光市における社会教育を推進するために、

①持続可能な組織、継続的な仕組みづくり

②多様な主体との情報の共有と連携・協働

③学びと活動の好循環を生み出す

という3点と4つの役割を具体的に実現させていく際のポイントとして設定しました。この3つのポイントについては、具体的な提言内容として、第2章に記載してあります。

市内の社会教育に係る事業や活動は、行政では担当課による所掌がありますが、社会教育委員会議は、全体を俯瞰し、助言に努める重要な役割を担う立場にあることを記してあります。総論については、十分にご理解をいただけるようお願いいたします。

## ○議長(議事進行)

ありがとうございます。この総論を踏まえて第2節以降が作成されておりますので、ぜひ、皆さまからご意見いただきましたと思います。専門部会の委員でもある佐野委員からお願いします。

## ○佐野委員

専門部会で議論を重ねてきました。学校の活動も独立している面がありますが、社会教育関係団体の活動が個別化しており、リンクしていない状況が課題として出されました。効果的な活動にしていくためには、ネットワーク化が必要であるというところから答申素案

がまとめられてきたと理解しています。

○議長(議事進行)

ありがとうございます。柳下委員、お願いします。

○柳下委員

私も、専門部会に参加してきました。さまざまな意見をまとめて、総論が記されていると思います。特に注目するのは、家庭教育支援の部分ですが、深く掘り下げられて記載されていると思っています。

○議長(議事進行)

ありがとうございます。よろしければ、花岡委員から順にご意見、または、感想等いただいて、最後に専門部会に参加されている中川委員、森田委員からお話しいただきたいと思います。

○花岡委員

それぞれのご家庭によって、家庭教育への意識には、差があるのではないかと思います。しっかり進めているご家庭もあるでしょうし、一方では、貧困等の課題を抱えて、家庭教育の視点にまで及ばない方もいらっしゃるようにお見受けします。家庭教育を支える社会教育は重要ですが、全世帯を一定の水準まで引き上げるための方策が大切だと思います。

○村山委員

スポーツ・青少年事業では、施設が足りないということが問題になっていると思います。また、高齢者へのフォローが十分にできていないことも課題となっています。社会全体をフィールドとした社会教育の視点や人と人とのつながりづくりはスポーツ活動に携わる者にとっても非常に重要な点だと思います。

○小見山委員

ボーイスカウトに在籍する子どもの家庭は、家庭教育にも熱心だと考えられます。ボーイスカウトは、年長者が年少者の面倒を見る組織であり、循環型、継続的な仕組みです。昨年度より、「自然体験あそび」という国の事業の委託を受け、ボーイスカウトに所属しない子ども達が参加できるよう呼びかけを始めました。コロナ禍のため、実現することができていませんが、ボーイスカウトの活動も含めてアピールし、つながりづくりや家庭教育支援に努めていきたいと思っています。

○鈴木委員

この2年、地域青少年を育てる会でも、イベント等が実施できない状況となっています。さまざまなご意見が出されていますが、育てる会でも、楽しくないとなかなか興味を持ってもらえない状況が見られます。忙しい保護者に興味を持ってもらえる活動について、頭をひねっています。社会教育全体についても同じことが言えるのではないのでしょうか。With

コロナだからこそ、具体的な情報発信が、求められているのではないのでしょうか。

#### ○宇部委員

社会教育委員として2期目を迎えていますが、社会教育委員としての役割が果たせているのかと心配になることがあります。民生委員としても地域で活動していますが、学校を含め、他の組織と連携が十分にとれていない状況があると思います。つながりづくりは活動の基本ですし、ネットワーク化も大切です。さまざまな方とのふれあいのなかに、たくさんの楽しさがうまれてくるとよいと思います。具体的な取組を考えながら、活動していきたいと思います。

#### ○山崎委員

中教審答申を踏まえて、和光市の体系づくりが提案されていると思います。いままで、皆さんがいろいろな分野でご尽力された結果、和光市の教育がつくりあげられてきていますが、提言されているようにネットワーク化は重要だと思います。

また、つながっていく社会教育という視点がすばらしいと思います。私が所属している音訳サークルの研修会資料に、「人に優しい」から「人が優しい」というフレーズがあり、感銘を受けました。「人が優しい」という視点は、お互いに不自由な面を助け合っていく、ギブアンドテイクの関係づくりに基づいています。優しい人を育てていくためにも、つながっていく社会教育を市として推進していったほしいと思います。

#### ○泉委員

初めに、専門部会の皆さま、ご苦労様でした。和光では、子育て世代が少し増えている状況ですので、楽しみでもあると思いますが、だからこそ、学校、家庭と地域が連携して、大切に子ども達を育てていってあげたいと思います。

公民館についていえば、魅力ある公民館にするための方策を考えることが必要でしょう。2、3歳児対象の事業がほとんど見られないことから、検討することをお勧めします。託児が必要な場面では、地元の高齢者やサークル活動をしている方にお問い合わせすれば、世代間交流も図ることができます。保護者が学習している間に、幼児や児童対象に昔話の読み聞かせや風あげ、お手玉教室を組み入れれば、地元の方にお手伝いをしていただくこともできます。和光市全体をフィールドにし、家庭教育支援を進めると同時に、つながりづくりにも発展していきます。このようなことを考えていただきたいと思います。

公民館は多くの事業を実施しています。私の知らない事業がたくさんあることもわかりました。広報わこうには一部が掲載されますが、公民館だよりを月に1回は発行し、事業の周知を進めることも必要でしょう。「攻め」の姿勢が求められているのではないのでしょうか。

#### ○中川委員

専門部会の協議から、学校教育と社会教育の両輪で、和光の教育を進めていくことの大切さを感じました。社会教育の視点からは、子ども達を地域のおじさんやおばさんが見守り、一緒に関わってあげる、ふれあってあげることが大切だと思います。私は、子ども達と一緒に楽しめるものとして、キッズテニスやテニピンの活動が続けてきましたが、子ども達の目の輝きを見るたび、活動のすばらしさを実感しています。

これからも、地域で子ども達の成長を支えていけるように、積極的に取り組み、和光市の社会教育の一翼を担うよう努めていきたいと思ひます。

#### ○森田専門部会会長

皆さんのお話をお聞きして、和光市で行われている事業や活動がやはり個別化している状況がうかがわれました。行政内の担当課や部署はもちろんのことですが、地域活動団体や市民活動団体においても、つながりづくりをしていくことが活動の発展につながります。このために、コーディネート機能が求められていることが明らかです。後述されている地域学校協働本部もつながりづくりやコーディネート機能を備えた新たな仕組みといえるでしょう。家庭教育支援を進めることは、子育て世代のつながりづくりだけでなく、子育てを終えた世代との世代間交流にもつながることが確認されました。「攻め」の社会教育についても、具体例を踏まえて、ご意見をいただいています。

また、和光市における社会教育を推進する3つのポイントについても、委員からご意見をいただきました。持続可能な組織・継続的な仕組みづくりについては、人材育成も重要となります。各事業の周知は、多様な主体との情報の共有と連携・協働のために不可欠と言えます。また、楽しさが活動参加へのきっかけとなることや学びと活動の好循環を生み出す具体的方策についてもご意見をいただきました。

委員の皆さまから出されたご意見を振り返ってみますと、答申素案のなかに、記載されていると思われまひるので、引き続き、第2節以降の審議をお願いいたします。

#### ○議長(議事進行)

ありがとうございました。これまでの、社会教育委員会議、若しくは、社会教育委員の悩みも踏まえて、このようにまとめられたと思ひております。4つの柱と3つのポイントについてご意見をいただきましたが、次は、具体的な内容について検討していきたいと思ひます。

それでは、第2節に進みます。まず、社会教育委員会議について、続いて、公民館、図書館という社会教育施設、更に生涯学習課事業、スポーツ・青少年課事業、地域活動団体・市民活動団体と続いて提言しています。ご意見はございませひか。

#### ○小見山委員

最近、ボーイスカウトでは、公民館のレクリエーション広場を借りて、活動することがあります。室内や体育室だけが利用できるのではないことをアピールするとよいと思ひます。

#### ○議長(議事進行)

ありがとうございます。公民館の使い方、案内の話となりますので、公民館長にご検討いただけるようお願いします。

#### ○事務局(生涯学習課長)

これまで、公民館では貸館事業という視点になりがちではございましたが、答申素案を踏まえて、意識や事業について改善を進めてまいります。利用案内につきましても、検討してまいります。

#### ○議長(議事進行)

ありがとうございます。それでは、第3節に進みます。学校・家庭・地域の連携・協働の推進というところになります。第3節については、専門部会でも研究し、確認しながら、取り組んできたとうかがっています。よろしければ、佐野委員からお願いします。

#### ○佐野委員

各学校に学校運営協議会が置かれています。学校運営協議会を置いた学校をコミュニティ・スクールと呼びますので、和光市の小・中学校は全校がコミュニティ・スクールとなっています。

課題の一つとして、学校運営協議会の委員が学校課題に対して、それぞれの立場で連携・協働することにまで至っていないという点が挙げられます。学校運営協議委員には、学校のパートナーとして果たすべき役割があることをご理解いただいた上で、活動していただくことが重要となっています。

新しい仕組みとしては、地域学校協働本部という組織が各公民館を会場に設置されることになります。学校支援のために地域の方が中心となって方策を検討し、地域の方のつながりやお力を子ども達の成長のため、まず生かしていただくことが大切です。この取組をとおして、地域の方々が時には学び直しをし、地域の方々が緩やかにつながることによって、豊かな地域づくりに発展していくことが期待されています。

地域学校協働本部で活動する地域学校協働活動推進員(和光市では、CS ディレクター)は、社会教育法に位置付けられており、地域学校協働本部にてコーディネート機能を発揮し、学校支援活動だけでなく、子どもの居場所づくり事業への支援や公民館長との連携による家庭教育支援、地域課題の解決に資する取組を進めることが、規定されています。

学校運営協議会と地域学校協働本部が一体となって機能し、マネジメントサイクルにより、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」が進められることが期待されています。

#### ○議長(議事進行)

ありがとうございます。ご意見はございますか。

#### ○山崎委員

和光市の教育は、これまでも、学校と家庭が相互理解し、地域の協力を得て、さまざまな課題や問題に適切に対応されてきていると思います。新たな体系づくりについては、これまでの知見や経験が生かされてきたものとなっていますが、コロナ禍においては、子ども達にとっていまという時間が大切であり、子ども達の学習や生活を保障するために学校・家庭・地域がどのように連携・協働するかということが正に問われている状況となっていることを、まず、申し上げておきたいと思います。

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の役割には、学校と地域が対等な立場で協議することや地域住民等が当事者として学校運営に参画することを通じて、学校と地域の連携・協働体制が組織的・継続的に確立されると示されていますが、子どもの状況や家庭の状況を詳細に把握し、協議が進められることも考えられます。学校運営協議委員やCSデ



ィレクター、地域コーディネーターという役割を担う方は、個人情報保護への十分な理解も求められます。研修を通した資質の向上は、必須といえるでしょう。人選の段階から、慎重に進めていただきたいと思います。

○議長

ありがとうございます。CSディレクターについて、ふれていただきましたが、始まったばかりの制度であり、研修の充実等についても検討していることを専門部会ではおききしています。山崎委員のご意見は、事務局にて、適切にご対応いただくことをお願いします。

○議長(議事進行)

それでは、第4節、家庭教育支援を支える社会教育の部分に進みます。ご意見があれば、お願いします。

○小見山委員

ボーイスカウト活動では、地域の大人が子ども達に関わり成長を支援することができます。家庭教育支援につながっていることと思いますが、個の立場として考えてみると、家庭教育支援にどう関わってよいのか想像がつかないところもあります。

○事務局(生涯学習課長)

「自然体験あそび」という国の事業の委託を受け、ボーイスカウトに所属しない子ども達が参加できるよう呼びかけを始めたというご紹介を先ほど、いただきました。それぞれのお立場で進めていただいている事業が、家庭教育支援につながっているとお考えいただけるとよろしいかと存じます。

○花岡委員

3学期当初は、学校のあいさつ運動に協力しました。子ども達が明るくあいさつができるように支援していくことも家庭教育支援のひとつだと思います。子ども達が地域の人に打ち解けられるように、努めています。簡単には進みませんが、どうしたらよいのかと考え、取り組んでいくことが大切だと思います。

○村山委員

コロナ禍でもあり、長い時間、家にいる子どものことが心配です。適切な家庭教育を受けていない子どももいるのではないのでしょうか。やはり、社会教育の立場から、保護者への積極的な関わりを進めることが必要でしょう。

あいさつについても、様々な課題があることは事実です。子どもの発達段階に応じた対応に大人が努めることも必要でしょう。いろいろな立場の方々と連携・協働して、取り組んでいきたいと思っています。

○議長(議事進行)

ありがとうございました。他になければ、おわりにのところに進めていきたいと思っています。ご意見がありましたら、お願いいたします。

○中川委員

「つながっていく社会教育」が和光市の社会教育の役割の一つとされています。大切なことだと思いますが、つながるためには、人と人とが話をし、お互いに理解し合うことが必要です。個々に尊重し合う、認め合うという姿勢は、前提として大切にしたいと思います。楽しく活動していけるように、互いが常に配慮していきたいものです。

○議長

ありがとうございました。つながりについてお話いただきました。和光市の魅力のひとつとして、子ども達にとって選択肢が広い、さまざまな活動が進められていることが挙げられるのではないのでしょうか。青少年を育てる会の活動、ボーイスカウトの活動、スポーツ団体の活動等、子どもが自ら選択することができます。一方、さまざまな活動に参加できない子どももいることでしょう。理由はそれぞれだと思いますが、学校と家庭、地域が更に深くつながることによって、多くの子ども達に豊かな体験をさせることができるのではないのでしょうか。「攻め」の姿勢を持つことは、より多くの子ども達に和光市の多種多様な活動にふれさせることにつながります。

本日は、答申素案について、ご意見をいただきましたので、第5回専門部会にて、協議し、答申案を作成していただくようお願いします。

○議長(議事進行)

それでは、社会教育の推進に関する意見交換に進みます。事務局から説明をお願いします。

○事務局(生涯学習課長)

前回の会議からおよそ半年が経過しております。この夏は、コロナウイルス感染拡大防止のため、行動が制限されることがあり、みなさまの組織や団体の活動にも大きな影響があったことと思われます。

生涯学習課におきましても対応が求められる時期がございましたが、参加者の安全を第一に考え、これまで事業実施に努めてまいりました。

令和3年度事業計画につきましては、市民まつりが中止となったことから、舞台発表、美術作品展、将棋大会等を中止いたしました。その他の事業につきましては、実施に努めてまいりました。

和光市民大学、子ども大学わこうは定員を減じ、広い会場で実施する工夫を続けてまいりました。子ども大学わこうでは、直前に、国の施設から講座中止の申し入れがございましたが、代替講座にて対応しております。

9日には、成人式を和光市民文化センターサンアゼリアにて、実施いたしました。中学校区ごとの2部制とし、密を避けるとともに、式典も30分間、来賓も限らせていただき、滞りなく進めました。

今後、人権講演会、生涯学習指導者研修会等を計画しておりますが、事業実施を前提に、社会情勢の変化に応じて対応してまいりたいと考えております。

With コロナを踏まえ、みなさまの組織や団体が活動にあたって工夫された点多々あるかと存じます。みなさまのご苦勞を共有し、財産としてまいりたいと考えておりますの

で、限られた時間ではございますが、ご紹介をお願いいたします。

#### ○議長(議事進行)

皆さま、いかがでしょうか。挙手をいただきましたので、森田委員から、続けて、お願いいたします。

#### ○森田委員

未就学児が1人でもいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験のあるボランティアが、ホームビジターとして訪問する「家庭訪問型子育て支援」であるホームスタート事業に携わっています。ボランティア養成講座を開催していますが、講師の意向を踏まえて、Web 会議の形式を導入しています。市の協力により、広い会場を借用し、アクリル板等感染症防止対策は進められましたが、デジタル環境の変化に左右され、研修が円滑に進まないという場面もありました。

一方、オンラインならではのよさも感じました。With コロナの状況で、やむを得なく取り組まざるを得なかったという面はありますが、子育て中の方でも、自宅から受講できるよさがあります。選択肢のひとつとして、ますます、広がっていくのではないかと感じました。

#### ○花岡委員

文化団体連合会には、15の団体が加盟しており、600人ほどの会員がいます。公民館やコミュニティ・センターを利用して、活動しています。高齢者が多いため、社会情勢を見極めながら活動を進めました。発表会を実施した団体もあります。なんとか活動を止めないように、それぞれの団体が工夫しています。感染症が一日も早く、収束するように期待しています。

#### ○山崎委員

音訳サークルの活動についてご報告します。令和3年度は、音訳者養成講座を6回予定していましたが、5回実施することができました。講師の先生の熱意に支えられた面もありましたが、マスク着用、三密の回避、社会的ディスタンス確保、パーテーション利用等、開催にあたっては、十分な対策を施しました。

視覚障害の方を対象として、対面朗読を行いました。感染防止対策を施すとともに、担当者を複数にすることにより、万が一の場合に備えました。マイクを通して声をきいていただくことになりましたが、参加者からは生の声がききたいという要望がありました。検討していきたいと思っています。

2月には、Web 会議サービスを利用し、研修を進める計画を立てています。

#### ○小見山委員

ボーイスカウト埼玉県連盟の指示に従って、ボーイスカウトの活動を進めています。ボーイスカウト活動にはカリキュラムがありますが、このとおりに進めることはできず、残念に思います。活動ができる期間には、市民広場や公民館を会場として、感染対策を施して進めました。リーダーを中心として、知恵を絞りながら、活動を進めています。

### ○中川委員

和光市テニス協会では、感染防止対策を施しながら、市民大会やテニス教室、練習会を開催してきました。個人としては、3つの小学校会場でテニピン教室を実施し、親子で楽しむスポーツ事業を総合体育館サブアリーナで開催しました。感染症の状況は、たいへん気になりますが、丈夫な体づくりのために運動は重要です。子ども達が、運動をとおして、より元気になっていく。元気な子ども達が少しでも増えてくるよう、活動を進めています。

### ○議長

ありがとうございました。ただいま、皆さまからコロナ禍での活動についてご紹介いただきました。現在、オミクロン株による急速な感染拡大が続いており、ご心配も多いことと存じますが、知恵を集め、できることを一緒に模索することは、躊躇することなくできるのではないのでしょうか。和光市にはさまざまな活動団体があり、各団体のみなさんが一生懸命取り組まれていることは、大変すばらしいと思いました。

先ほど、生涯学習事業に関して説明がありましたが、前回の会議では、事業を中止にするのではなく、違う策を考えて、少しでも歩みを進めてほしいという意見が出されていました。国の機関から中止要請があった際には、代替事業を実施したというご報告は、少しでも歩みを進めようという意志の表れと受け止めました。正に行政も市民も一体となって、コロナ禍でも、社会教育を充実させていく取組が行われているという姿が見受けられます。工夫等についても共有できたと思っております。

まだまだ、予断ならない状況は続くと思いますが、一緒に、なんとか乗り越えていきたいと感じております。それぞれの団体、組織におかれましても、今後とも工夫しながら、活動の充実を図り、和光市の社会教育の発展にお力を尽くしていただきますようお願いをいたします。

### ○議長(議事進行)

本日の会議で予定された議題は、以上となりますので、これで、議長の任を解かせていただきます。皆さまにはご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

### ○事務局

本日は、長時間にわたり、ご審議いただき、誠にありがとうございました。次回、会議を3月14日(月)午後2時より、市役所603会議室にて予定しております。後日、開催文書を送付いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、過日、令和3年度南部地区社会教育関係委員・職員研修会のご案内をいたしました。ご出席をいただける委員のみなさまには、既にお知らせ申し上げておりますが、1月19日(水)午後2時40分に、このお部屋、503会議室にお越しくださいますようお願いいたします。本日は、お疲れ様でございました。気を付けておかえりください。ありがとうございました。

## 5 閉会